

◆平成31年3月20日開催庁議◆

1. 市長挨拶

- 本日は人事異動の内示を行う。職員が限られている中で人材の調整を行っている結果であるので理解願いたい。
- 平成31年度に向けて様々な事業が始まる中、各部署においても新しい事業や取り組みを実施しなくてはならない。予算執行についても新体制で行うにあたり、各部長職は仕事のやり方や指示など、しっかりと絵を描きながら考えて頂きたい。
- 今週の月曜日から「きれいなまちづくりキャンペーン」を実施している。雪解け後で街の中が汚れていることから、職員の参加を呼びかけて欲しい。

2. 議事

(1) 平成31年度人事異動内示について【総務部】～要点抜粋

◎資料に基づき、総務部長説明

- 平成31年度の組織機構の概要としては、一部組織体制を改編し増大する事務事業に対応しつつ、「第5期恵庭市総合計画」や「恵庭市総合戦略」を推進し、市の重点施策の実現を効率よく推進することのできる体制とした。
- 主要な内容として、組織全体では、室・課の新設、課の統合や名称変更を行い、効率的・機能的な行政運営を図る体制とした。また、職階バランスの適正化を図るため、全庁的に主査職ポストを削減し、スタッフ職への置き換えを行った。
- 総務部では、システム管理の効率化を図るため情報システム課を総務課に統合した。また管財課と契約課の統合を行い「管財・契約課」とし、機能的な業務運営を行う。
- 企画振興部では、市制施行50周年の各種事業を統括的に行うために「50周年事業室」を新設し、市史編さん業務の強化のため、広報課に主幹職を配置した。また、さっぽろ連携中枢都市圏における圏域内市町村職員の交流として、スタッフ職1名を札幌市に派遣する。
- 生活環境部では、市民活動センターのNPO法人化により市民活動業務を移管したため市民活動推進課を廃止し、地域担当制事業等を生活安全課に統合させ、「市民生活課」と名称の変更を行った。また、焼却施設の運用開始に向けて、計画調整課に主幹職を配置した。
- 教育部では、教育施設の建て替え等に対応するため、「施設整備室」を新設し、そこに「教育施設課」を設置した。また、学校教育課を教育総務課に統合した。
- 消防本部・署では、救急隊員の指導育成のため本部に設置していた「救急高度化主幹」を「救急指令主幹」とし消防署に移管した。
- 人事異動に際し、関係各部との組織・機構に対するヒアリングや人事異動ガイドラインに基づき、職員の意向調査の実施と各所属長と異動対象職員との面談を行いながら、職員の意識向上、適材適所の職員配置に努めた。

- 異動者総数は267名、昇任者数は部長級5名、次長級6名、課長級7名、主査級11名の計29名となった。なお、平成31年度の組織において女性管理職は9名であり、管理職に占める女性割合は9.4%である。

3. その他

【生活環境部次長】

- ◎ゴールデンウィーク中の臨時窓口開設について
- 実施日時は、5月2日木曜日、8時45分から17時15分までとし、実施窓口は、市民課と国保医療課の2課として、市民ニーズなどがある業務や緊急性を考慮した窓口を開設する。
- 対応する業務は、市民課では、住民異動と証明書発行等の業務であり、国保医療課では、保険証の発行を行います。また、転入などに伴う住民異動のうち、当日対応できない業務があれば、後日それぞれの所管で対応する。
- 市民の周知方法としては、広報えにわ4月号やホームページ、フリーペーパーやFMラジオ放送、報道機関で周知を行うこととする。

【選挙管理委員会局長 代理：総務部長】

- 選挙について
期日前投票含めこれから道議・知事選挙、恵庭市議会議員選挙が行われる。各部署において、協力をお願いします。